

03 夢みらい鎌倉 中里 成光議員 代表質問項目表(最終稿)

区 分	質 問 要 旨	担 当 部
1	<p>市民自治</p> <p>『市民活動と協働を推進するための指針』に基づいて、事業を進めていることは大変評価するところであります。一方で、行いたい事業の募集をするにあたり、ここ最近では、市民からの要望に限られているようだが、協働という意味から考えると、「鎌倉市がどのような事業を市民と協働で行いたいのか」、を提案していく必要があると考えるが、いかがか。さらに、『エール基金』の使い道を早期に決めて、活用するべきと考えるが、いかがか。</p>	市民防災部
2	<p>行財政運営</p> <p>(1) 多様な市民が意見や議論を展開できる新たなデジタル技術を取り入れたプラットフォームが創出され、より行政の政策策定に向けた幅広い意見の収集ができる仕組みがスマートシティ構想の中でできるのは理想だが、これまでの実証実験の状況や今後の展開を伺う。(マ91)</p> <p>(2) 今後行政が行うICT活用に向けてはデジタルデバインドへの対応が急務だと感じる。鎌倉市として高齢者や障がい者への普及促進などを行う予定があるか伺う。</p> <p>(3) 国が積極的に進めている行政DXでは、自治体の基幹システムが令和7年度に標準化されると認識しているが、市民への申請手続きなど令和5年度に予定している事業と、国のシステム標準化以降の展開を伺う。</p> <p>(4) 第6分庁舎の開設が目前となっています。遠隔庁舎間で相談や手続きができるオンライン窓口システムの導入について、鎌倉市庁舎の未来につながる貴重なモデルともなる、と考えて期待しているところです。その準備と心構えについてはいかがか。</p> <p>(5) 窓口の機能とともに、職員の働き方、働く環境整備といった視点でも重要なモデルとなると考える。今回その様な視点が取り入れられているのか。若い職員の意見なども重要であると考えているが、検討はどの様に進めてきたのか。</p> <p>(6) 行財政改革はDXの進展で、ICT活用による新たな仕組み作りが進められていますが、しっかりその精度を検証するとともに、活用の拡大においては効率性だけではなくアナログな対応が必要な部分はしっかり残し、だれもが使いやすい仕組みを構築していただきたいが、いかがか。</p> <p>(7) 一方、デジタル化できるものは積極的に進め、省力化、ミスの削減に取り組むべきと考えており、特にAIを活用したチャットボットや議事録作成など導入に向けた検討状況はどうか。ノーコードツールによる業務改善の取組はどうか。</p> <p>(8) 職員の働き方改革に向けてもデジタルの導入は重要。例えば家族が急病で出勤ができなくなったような時、BYOD、いわゆる市職員の個人所有パソコンなどを活用する取り組みは非常に効果的であると思うが、導入に向けた検討状況は。</p> <p>(9) 公共施設計画の見直しにおいては、単なる時点修正だけでなく住民周知の時間をしっかり取る等、実効性を持った余裕のある計画にすべきと考える。また、梶原四丁目用地の利活用については、利用可能な枠を広げより多くの企業等が参加できるような計画図書の作成を目指すべきと考えるが、いかがか。</p>	<p>共生共創部</p> <p>健康福祉部</p> <p>共生共創部</p> <p>共生共創部</p> <p>共生共創部</p> <p>共生共創部</p> <p>共生共創部</p> <p>共生共創部</p> <p>総務部</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>- (10)</li> <li>- (11)</li> <li>- (12)</li> </ul>	<p>災害時に住民の命と資産を守るのが鎌倉市としての行政の最重要任務だと認識している。現在の市役所は甚大な災害発生後に業務継続が不能な状態にあるとの指摘があるが、現在の本庁舎の課題をどの様に考えるか伺う。(マ81)</p> <p>『鎌倉市市庁舎現地利活用基本構想』を踏まえ、その計画の策定に取り組むとある。生涯学習センターや図書館の複合化のほかに、現地の利活用において、まず第一に考えて頂きたいのは、市民が安心して安全に暮らすために、防災拠点としての機能をもつことと、市庁舎の移転先とオンラインでつなぐことができる相談窓口の設置だが、いかがか。(マ82)</p> <p>もし今大地震が起こったら行政機能はどうなるだろうと考えれば考えるほど、新庁舎整備は市民の安全と安心を確保するためには喫緊の課題であると再認識するところである。深沢地域への本庁舎移転に関する条例の否決を受けて、移転に向けた課題をどう捉えているか、また、移転を進めていく上での具体的な取組についても伺う。(マ81)</p>	<p>まちづくり計画部</p> <p>まちづくり計画部</p> <p>まちづくり計画部</p>
<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>歴史的遺産と共生するまちづくり</p> <p>鎌倉市は日本遺産としての資源は十分に備わっている自治体であり、その魅力をどう伝え活かしていこうと考えているのか、その課題と令和5年度における取り組みについて伺う。</p>	<p>市民防災部</p>
<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> </ul>	<p>歴史環境</p> <p>史跡大町釈迦堂口遺跡のトンネル部分の安全対策工事が進み初めたことについては、これまで不便を感じ、また、崩落の不安を抱えていた周辺住民にとっても、その工事の進捗を期待しながら見守っているところである。この先、暫定的に公開するということが、その際には、史跡の麓の広場の整備を行い、訪れた人達がくつろげる場所にして頂きたいと考えるが、いかがか。(マ62)</p> <p>一方、史跡大町釈迦堂口遺跡に限らず、鎌倉市には多くの文化財があり、鎌倉の特徴である。これらを行政だけでなく市民とともに守っていこうという動きについて、今後どのように取り組んでいく</p>	<p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p>
<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>みどり</p> <p>公園遊具の更新は、長年にわたり要望してきたことであり、やっと、という思いはあるものの、実施されることは評価している。それには、一口に公園と言っても、それぞれの地域住民の中心となる世代等状況調査を行い、利用する市民ニーズにあった公園を整備して頂きたいということもお願いしてきたことであるが、その方法等を、改めて伺う。(マ26)</p>	<p>都市景観部</p>
<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>生活環境</p> <p>今後のゴミ処理行政を考えると各家庭からのゴミの排出量を徹底的に減量する必要がある。資源化できるものでは鎌倉市では全国でもトップクラスの資源化を行っています。あとは燃えるゴミの約半分を占める生ゴミの家庭内処理をさらに進める必要と考える。そこで、家庭用の生ごみ処理機の普及促進に向けた取り組みを伺う。</p>	<p>環境部</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>- (2)</li> <li>- (3)</li> <li>- (4)</li> <li>- (5)</li> </ul>	<p>ごみの減量・資源化に取り組む中で、紙おむつの資源化についてこれまで様々進められてきた。令和7年度には家庭系及び事業系紙おむつの全量資源化を計画しているため、計画が遅れないよう、今後の取組について伺う。</p> <p>2050年度のカーボンニュートラルに向けた取り組みも待ったなしの状況である。これまで述べてきた自然エネルギーの地産地消を行うことが重要だと思うが、太陽光発電やEVの促進も含めた温暖化対策の取組を伺う。</p> <p>家庭ごみの戸別収集の実施について、マニフェストにも掲げているが、具体的な取組について伺う。(マ51)</p> <p>海洋ごみの対策は沿岸部の市町村の負担というのが大きい中で、海に流れる前に街や川の上流で防ぐことも大切です。令和4年度に行った「8市連携海洋プラスチックごみ削減キャンペーン」のような広域的な展開が必要と考えるが、いかがか。(マ55)</p>	<p>環境部</p> <p>環境部</p> <p>環境部</p> <p>環境部</p>
<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> </ul>	<p>健康福祉</p> <p>本年度は遠隔ロボットやデジタル就労支援センターKAMAKURAの立ち上げで新たな障がい者雇用の可能性が広がったと評価している。障がい者雇用の現状と今後の取組について伺う。</p> <p>口腔保健センター運営については、障害者歯科診療を開始して以来、その需要が多いことにより、これまでの木曜日診療に加え、この度日曜日も実施されるとのことである。診療を拡大して頂くことは、大いに感謝するところであるが、先々を考えると、現在の体制が維持していけるのか心配である。いかがか。</p>	<p>健康福祉部</p> <p>健康福祉部</p>
<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> <li>- (3)</li> <li>- (4)</li> <li>- (5)</li> </ul>	<p>子育て</p> <p>かまくらっ子発達支援サポーターを養成し、市立小・中学校の全校及び幼稚園・保育園5園に、支援が必要な子どものサポート行うということで、この事業が始まって少しずつ拡大して実施していることは、大いに評価している。一方で課題も見えてきていると思うが、その課題はどのようなもので、今回、どのようにその課題を乗り越えていこうとしているのか伺う。また、支援を必要としている子どもへのできるだけ早期の支援を進めるという考え方から、幼稚園、保育園の支援をさらに広げる必要があると考えていますが、いかがか。</p> <p>出張相談・発達支援コーディネーターの養成、ペアレントトレーニングとその体制づくりが順調に進んでいると思うが、更なる充実が必要と考えるが、いかがか。</p> <p>幼稚園において、支援の必要なお子さんが増加しており、お子さんの成長・発達のために各園が尽力していると聞いている。そのような状況に対し、各園や、支援を必要とするお子さんに市としてバックアップが必要と考えるがいかがか。</p> <p>『冒険遊び場』については、現在梶原で行われている以外に、そろそろ他の地域でもこうした『冒険遊び場』を設置する必要があるかと思うが、どのようなお考えか伺う。</p> <p>医療費の無償化対象の拡大については、長年にわたり実施に向けて要望してきた事業であるが、その進め方について伺う。</p>	<p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>- (6)</li> <li>- (7)</li> <li>- (8)</li> <li>- (9)</li> </ul>	<p>待機児童の解消に寄与するため、私立幼稚園では預かり保育を実施しており、現在、市では当事業に対し、独自に助成を行っている。しかしながら、幼稚園からは、特に早朝や夕方の時間帯は人材確保に苦勞しており、このままでは利用人数を制限せざるを得ない状況にあると聴いている。補助単価の増額を求めるが、いかに</p> <p>腰越保育園について、令和5年度は引継ぎ保育・新園舎竣工・引越し等が行われるとのことだが、保育の継続性の観点から児童及び保護者に不安を抱かせたり、不要な混乱を招かないように十分</p> <p>公立保育所で提供する給食の食材に、地場産品やオーガニック食材など成長期の子供達にとって安心できるものを取り入れるとあるが、その取り入れる方針と実際に産物はどのようなものを扱うのか、また今後の展開を伺う。</p> <p>オーガニック給食の取り組みにもっと力を入れること、そのためには神奈川県内農家との連携強化に加え、鎌倉市内の農家との連携も積極的に図ってオーガニック給食に転換していく取り組みを行う必要があると考えるがどうか。</p>	<p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p> <p>こどもみらい部</p>
<p>9</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> <li>- (3)</li> <li>- (4)</li> <li>- (5)</li> <li>- (6)</li> <li>- (7)</li> <li>- (8)</li> </ul>	<p>学校教育</p> <p>コミュニティスクールについては、まずは第二小中学区、西鎌倉小、手広中学区で本格的に進められ、この4年間で全学区に進められていくと聞いている。まずはこの鎌倉版コミュニティスクールがどのようなものとして進むのか、いわゆるコミュニティスクールになるためにどのように進めるつもりか、先生方の認識なども含めて伺う</p> <p>生徒が自主的な課題解決を行う上でSDGsを取り入れる活動が増えているとのことだが、どのような取り組みがあるのか伺いたい。また今後の展開、課題なども伺いたい。(マ28)</p> <p>SDGsをはじめとする様々な社会の課題を子ども達が自ら発見し、探究を深める課題解決型学習を拡大実施するとあるが、それはどのようなものか伺う。(マ28)</p> <p>iPadを活用した相談フォーム『子どもSOS』について、子ども達の利用率が高いと伺っており、この取り組みを高く評価しているが、さらなる充実も必要と考えるが、いかがか。</p> <p>課題であった学校施設整備事業に向けた計画づくりが令和5年度に策定されるとの事だが、今後のスケジュールと重点項目を伺う。(マ16)</p> <p>中学校の分教室型で設置する不登校特例校について、候補地における埋蔵文化財発掘調査を行うとあるが、開設までの全体的なスケジュールを伺う。(マ17)</p> <p>分教室型の不登校特例校、県内初のフリースクール利用費助成などの取組は、評価するが、ひだまりとの関係はどのような様になるのか。また、不登校とまではいかないが、学校に行きづらいと感じているような児童・生徒への対応、不登校を未然に防ぐ取り組みが重要だと考えるが、その点についてはどのような様に考えているのか。(マ17)</p> <p>給食の無償化について伺います。子育て支援の観点から必要な事業と考えるが、いかがか。</p>	<p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p> <p>教育文化財部</p>
<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>青少年育成</p> <p>青少年の居場所づくりについては、これまでも強く要望してきた経緯がある。この度、新たな青少年の居場所づくりの検討を進める、とあり、大変期待するところであるが、実際にどのようなものか</p>	<p>こどもみらい部</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>- (2) フリースクールについては、不登校の児童生徒にとって、進学や居場所としても必要な場所と考えられており、学校との連携やその考え方等、これまでも伺ってきたところだが、「フリースクール等を利用する際の補助を開始する」とあるが、どのような趣旨・内容での支援を考えているのか伺う。</li> </ul>	こどもみらい部
11	<p>防災・安全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1) 災害時におけるトイレ問題は大変重要な課題である。今回災害派遣トイレネットワークの仕組みを活用し、鎌倉市でのトイレトレーラーの導入となっていますが具体的な内容を伺う。</li> <li>- (2) 市内では鎌倉FMとアウトドアメーカーの協働によるイベントが開催され、アウトドアと防災の親和性がとても高いという発信が始まったが、鎌倉市として今後の防災に対する取り組みとしてアウトドアというテーマを盛り込むのは有効だと考えるが、いかがか。</li> <li>- (3) マニフェストに掲げられています「ペット避難所」について、地域防災拠点の実状に応じたペット対策を考える必要がありますが、ペット同行避難者の受入れに向けた取り組みはどのように考えているか</li> <li>- (4) ハザードマップについては、土砂災害、洪水、津波など多くのものが盛り込まれている一方で、分りづらいという難点がある。今回、平易な表現を盛り込んだ新たなハザードマップを作成するとあり、大変興味深いところであるがどのようなものか伺う。</li> <li>- (5) 津波避難経路路面シートについて、必要性を認識しているが、電柱等の目線の高さに貼るなど、場所によっては工夫をして避難誘導をすることも必要と考えるが、いかがか。</li> <li>- (6) 2022年12月29日、東京・昭島市で発生した救急車の単独事故は、17時間連続勤務の過酷な勤務環境の中で“居眠り”により起きてしまった横転事故と報道されている。本市においても令和4年は過去最大の救急出動件数であったと聞いているが、本市の救急隊員の勤務環境はどうか、またその対策はどのように行っているのか伺う。</li> <li>- (7) 消防力を維持するための定数確保が必要と考えるが、今後の採用計画について伺う。</li> <li>- (8) 事故、災害時に迅速な対応が求められる消防指令センターの充実は大変重要である。高機能消防指令センターの更新に向けた実施設計はどのような内容か伺う。</li> <li>- (9) 平成27年3月に策定された公共施設再編計画の中で、鎌倉消防署の建替え時期に合わせ適地を選定し浄明寺出張所と統合することになっている。その用地取得の進捗状況を伺う。</li> <li>- (10) 残念ながら鎌倉市内では特殊詐欺が頻発していると聞く。令和4年度の被害状況と鎌倉市の取り組みを伺う。</li> </ul>	<p>市民防災部</p> <p>市民防災部</p> <p>市民防災部</p> <p>市民防災部</p> <p>市民防災部</p> <p>消防本部</p> <p>消防本部</p> <p>消防本部</p> <p>市民防災部</p>
12	<p>市街地整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1) 令和4年市議会12月定例会において、鎌倉市役所移転に関する条例が否決されましたが、現在進めている深沢地域整備事業への影響はあるのか、また令和5年度にはどのような取組を予定しているのか伺う。(マ-81)</li> <li>- (2) 深沢地域の周辺道路の環境整備に対する取組は、どのように進めるのか伺う。(マ-81)</li> </ul>	<p>まちづくり計画部</p> <p>まちづくり計画部</p>

<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> </ul>	<p>総合交通</p> <p>鎌倉市交通マスタープランは、本市の将来の都市像にあわせた望ましい交通体系の目標像を示すとともに、交通需要管理などについて、その整備推進のための基本方針を示すことを目的として、平成10年に策定されたが、平成16年に一部改定を行ったものの策定後すでに24年が経っており、その後の交通網の変化や様々な社会状況の変化を踏まえ現状に合った、また深沢地域整備事業の進捗に合わせた目指すべき市内交通のあり方をしっかり見据えた計画とすべきと考えるが、令和5年度の取り組みと今後の計画策定のスケジュールについて伺う。</p> <p>令和2年度に二階堂・浄明寺地区で行ったオンデマンドモビリティの実証実験以来、その結果を得てなかなか進まないことについて伺う。安定した運行ができる枠組みの確立と全市的な視点での新たなシステムの構築の準備を進めるとあるが、いずれも重要なことであり、求めていることだが、どのように進めていくのか伺う。</p>	<p>まちづくり計画部</p> <p>まちづくり計画部</p>
<p>14</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>道路整備</p> <p>鎌倉市ではこれまで小町通りなどで電線の地中化を行ってきたが、新たに建物を建築する際に電柱を設置することを規制する条例が必要と考える。無電柱化の条例制定に向けた取り組みについて伺う。</p>	<p>都市整備部</p>
<p>15</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> <li>(3)</li> <li>(4)</li> </ul>	<p>下水道・河川</p> <p>災害に強い持続型下水道の再整備事業に着手するとの事だが、現在稲村ヶ崎での下水管付け替え工事でも長期間に渡り困難な状況に出会していると思う。今回の再整備計画はより効率的かつスマートな整備を目指してもらいたい。現在の想定している整備の規模などを伺う。</p> <p>河川の水量を確保し水害を防ぐには、河川の持っている機能を十分に発揮させなければならず、そのための浚渫は大切な予防策であるとする。現在の課題と令和5年度の計画について伺う。</p> <p>平成20年に策定された鎌倉市下水道総合浸水対策計画に基づき実施している大塚川から新川への分水事業の進捗状況はどうか</p> <p>鎌倉市下水道総合浸水対策計画の改定状況はいかがか伺う。</p>	<p>都市整備部</p> <p>都市整備部</p> <p>都市整備部</p> <p>都市整備部</p>
<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> <li>- (2)</li> </ul>	<p>産業振興</p> <p>ミヅキカマクラブプロジェクトの取り組みの一つである鎌倉地域の漁業支援施設整備に向けて、計画に従って進んでいると考えているが、今後どのように進められるのか伺う。</p> <p>市内へのサテライトオフィスの誘致やスタートアップ企業への補助は未来への投資としてはとても魅力的なものと感じるが、具体的な取り組みを伺う。</p>	<p>都市整備部</p> <p>市民防災部</p>
<p>17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- (1)</li> </ul>	<p>観光</p> <p>海岸の下水道排水設備について、海の環境面や臭気対策としても市が敷設をしていくことは大変評価している。一方で、敷設後の利用については一定の負担をお願いする形での対応をするべきと考えるが、今後の課題や取り組みについて伺う。</p>	<p>市民防災部</p>